

オホーツクのポテンシャルを引き出す新たな挑戦

【株式会社 渡辺組（遠軽町）】

会社概要

創業	1906年	従業員	123名(正社員60名)
事業内容	<p>[直営] 建築、土木、下宿運営、不動産賃貸、発電、 山林管理・木材供給、トレーラーハウス製造販売</p> <p>[グループ企業] 農産物生産、農産加工、木材加工、水産加工、 ホテル経営、ガソリンスタンド、建築販売、清掃事業、 エゾシカ肉加工販売</p>		
URL	https://watanabe-gumi.com/		



- 創業から116年を迎えた、地域の老舗 建築土木会社
- 山林管理や農水産加工など幅広い事業を展開
- エゾシカによる地域の農業被害をきっかけに、エゾシカ肉の加工販売にも取り組む

コロナ等の影響とその対応策

- 売上高の減少
⇒ キャンプ需要を見込んだトレーラーハウス製造販売
⇒ 地域の山林の買取拡大と木材原料の安定確保
- 外食需要の減少
⇒ コロナ禍後の需要拡大を見込んだエゾシカ肉の高品質化
- 地域の離職者の増加
⇒ 正社員を増員（50人→60人）し、地域の雇用を確保

新たな取組

コロナ禍での需要を見込んだトレーラーハウスの開発

- コロナ禍で、密を避けられるキャンプ需要が高まることを見込み、道内企業と連携し「メイドイン北海道」の寒冷地仕様のトレーラーハウスを開発
- キャンプ場での利用のほか、ワーケーション施設や小売店舗など、幅広い利活用方法を提案することで、売上を拡大



放置された山林の買い取りによる木材原料の安定確保

- 手入れが行われず、放置された地域の山林の買い取りをコロナ禍でも継続
- ウクライナ情勢で木材が高騰した中でも原料の安定確保が可能となり、コロナ禍での収益改善に貢献



コロナ禍後の需要回復を見込んだエゾシカ肉の高品質化

- コロナ禍で外食需要が落ち込む中、コロナ禍後の需要回復を見込み、エゾシカの北海道認証(受入基準の厳格化や工場のHACCP)を取得するなど徹底した高品質化を推進
- 現在、コロナ禍前を超える引き合い



今後の展開

- 山林管理事業
⇒ 植林を進め、SDGsやゼロカーボンにも配慮した循環型林業を目指す
- エゾシカ肉加工販売事業
⇒ 農業に被害をもたらすエゾシカの受入拡大とエゾシカ肉の販売拡大の両立